

食育しょく いくつうしん



がつごう
1月号

がつ 23日 (月) ~ がつ 27日 (金)
いばらきしがっこうきゅうしょくしゅうかん
茨木市学校給食週間

1月23日(月)~1月27日(金)は、学校給食週間です。給食について考え、日ごろから給食にたずさわっている人々の苦勞を知り、感謝の気持ちをあらわす週間です。

がっこうきゅうしょく ~学校給食のはじまり~



めいじ 22年
(1889年)



やまがたけんつるおかし ちゅうあいしょうがっこう べんどう も
山形県鶴岡市の忠愛小学校でお弁当を持ってくるのができない子どもたちのために、おにぎり、焼き魚、つけものといった簡単なものをお昼ご飯に出したことが学校給食のはじまりだそうです。

がっこうきゅうしょく れき し ~学校給食の歴史~



しょうわ 22年
(1947年)



せんそう だいにじせかいたいせん
戦争(第二次世界大戦)により、一時中止していた給食が始まりました。脱脂粉乳は、牛乳から脂肪分をぬき、乾燥させて粉にしたものです。これをお湯で溶かして飲んでいました。

しょうわ 27年
(1952年)



ぜんこく
全国にパン、ミルク、おかずがそろった完全給食が広がっていきました。手に入りやすいくじら肉がよく食べられていました。食器は、アルマイト(アルミでできた)の食器でした。

げんざい きゅうしょく
現在の給食



えいよう
栄養バランスがよくなり、季節の食材を使用した料理、郷土料理、世界の料理などさまざまな献立が取り入れられています。

